

9/8 Hirado City Photo News
ビートルが国際航路として初運航！



ＪＲ九州高速船「ビートル」歓迎セレモニーが平戸市観光交通ターミナル周辺において開催されました。

このイベントは、「ビートル」の平戸航路が１日限定で運行されることに伴い実施されたもので、博多港を出発し平戸港に到着した乗客の皆さんを愛の園保育所の園児25人が和太鼓の演奏で歓迎しました。

この後「ビートル」は、平戸港から乗船する約100人のお客さんを乗せ、韓国の釜山港に向けて出航しました。

8/24 Hirado City Photo News
「平戸神楽」を受け継ぎます



亀岡神社神楽殿で平戸神楽後継者育成講習会が開催され、小学２年生から高校２年生までの11人が参加しました。

講習会は、国指定重要無形民俗文化財である「平戸神楽」の振興と保護、育成を目的に行われています。子どもたちは、鈴や扇の持ち方や畳の歩き方など神楽に必要な所作を学び、平戸神楽全24番の中から「荒塩」、「二本幣」、「所堅」を講師の神職から教わりました。

神楽殿は昨年３月に屋根瓦の修復工事を終え、今回の講習会で初めて使われました。

8/23 Hirado City Photo News
卓球を通して日中交流



８月21日から24日まで、鄭成功ゆかりの地で、友好都市である中国南安市の中学生と卓球交流を行いました。

今年は、友好都市締結から20周年の節目の年にあたることから、初めて中学生同士での交流を行いました。南安市から選手・監督など14人が平戸を訪問し、23日は平戸文化センターにおいて、市内68人の中学生と卓球交流大会が行われ、交流を深めました。大会では、卓球王国・中国の中学生相手に、度島中学校の生徒たちが白熱した試合を繰り広げ、見事優勝しました。

お気軽にご相談を！

精神疾患と聞いてどのようなことを思い浮かべますか？

精神疾患とは、脳の病気で誰でもかかる可能性がある病気です。「精神力の強弱」や「性格」、「親の育てかた」と、「精神疾患のなりやすさ」は関係ありません。

精神疾患は、早い段階で発見し、治療を開始することで症状が穏やかになります。「いつもと様子が違うな？」と気づいた身近な人が、治療を勧めることも大切です。

精神疾患の治療のためには、精神科・心療内科などの専門医を受診することが大切です。一人で抱え込まず、医療機関や相談窓口へお気軽にご相談ください。

■お問い合わせ 福祉課障害福祉班 ☎内線2566

健康・福祉

いきいき通信

health and welfare information

vol.63



主な精神疾患

●うつ病

さまざまな出来事や体験で感じる強いストレス、過度の疲労などが影響し合い、脳内にトラブルが生じて、心のエネルギーが低下してしまう病気です。

「脳の充電切れ」と例えられることもあります。何をする気も起らない、集中力がない、人に会うことがおっくう、夜眠れない、食欲がなく、体重が減ってきたなどの症状があります。

「怠けている」「甘えている」などと誤解されがちですが、脳のトラブルによる病気です。

●統合失調症

幻聴、幻覚、妄想、考えがまとまりにくい、社会的機能の低下（仕事や学業などができなくなる、能率が著しく落ちるなど）などの症状が見られる病気のことをいいます。特に幻聴や妄想では、被害者意識を感じるようなものが多く見られます。20～30歳代で発症することが多いです。

統合失調症の原因は、まだはっきりとはわかっていませんが、悩み、ストレス、不安、環境の変化、遺伝的要因、脳内の伝達物質などに関連があるのではないかという説があります。

●強迫性障害

「気にしなくてもいいとわかっていること」をどうしても頭から振り払うことができなくなる病気です。

他人から見ると無駄だと思える行為を繰り返します。例えば「何度手を洗っても汚れている感じがして、繰り返し手を洗う」というのが典型的な行為です。その他に「ガスの元栓を閉めたか、戸締りをきちんとしたか気になって何度も確認してしまう」という症状もあります。このような症状がある人は、自分でも「バカげたことだ」という自覚があります。それでもやめられないので苦しいのです。

●アルコール依存症

飲酒を繰り返すうちにお酒を飲む量が増えていくようになり、やがてお酒を飲まずにはいられなくなってしまう病気です。

症状が進行すると、仕事や家庭生活に重大な影響を及ぼしたり、肝臓障害などの病気を引き起こしてしまうことがあります。



気になる症状がある場合は
こちらにご相談ください！

相談窓口	電話番号	受付時間
県北保健所保健福祉班	57-3933	9:00～17:00（土・日・祝日を除く）
福祉課障害福祉班	内線2566	8:30～17:15（土・日・祝日を除く）

8/29 *Hirado City Photo News*
松浦鉄道 × 北松農高イベント



8月23日、29日、県立北松農業高校で、「北松農高スクールツーリズム」が開催されました。「スクールツーリズム」とは、学校と観光の融合から生まれた新たな旅のスタイルで、この企画は松浦鉄道と北松農高が連携して、農業高校のさまざまな魅力ある施設を参加者が見学・体験するツアーとなっています。

参加した約40人の親子は、ロールパン作り、動物とのふれあいやぶどう狩りなど普段あまり体験できない内容に興味津々で、子どもだけでなく、大人も熱心に取り組んでいました。

8/28 *Hirado City Photo News*
いつまでもお元気で！



8月26日、紺屋町の尼崎留作さんが100歳の誕生日を迎えられ、黒田市長が自宅を訪れ、花束と記念品を贈り長寿を祝いました。

尼崎さんは、若いころは郵便局に勤めており、息子4人娘2人の6人の子宝に恵まれ、休みの日には日曜大工をしながらお寺の総代も務めていました。現在は「介護老人保健施設ひらんど」に入所されています。

お祝い式では、ご家族やお孫さんに囲まれ、「誠にありがとうございました」と感謝の言葉を述べられました。

9/13 *Hirado City Photo News*
レゲエミュージックで平戸を元気に！



平戸大橋海浜公園特設会場で、「平戸DISCOvol 4」（平戸DISCO実行委員会佐々木会長）が開催されました。

トップバッターとして黒田市長が熱唱するなど、市内外のプロアマのレゲエグループやミュージシャン約20組がイベントを盛り上げました。中でも最後に登場したプロのレゲエミュージシャン「Spinna B-ILL」のライブ時には、この日一番の盛り上がりを見せていました。

市内外から訪れた約300人のお客さんは、心地よい音楽を満喫していました。

9/4 *Hirado City Photo News*
子どもの自主性を磨く共同生活



中野ふれあい会館で、通学合宿が行われ、中野小学校の5年生から6年生までの児童15人が参加しました。この通学合宿は、親元を離れて共同生活を送る中で、子どもの人間関係力や生活力を育むことを目的としており、今回で4回目の開催となりました。

参加した子どもたちは、自分たちで夕食の献立を考えたり、みんなで協力しながら炊事や掃除などを行い、4日間の共同生活を送りました。この通学合宿を通して、児童たちは、お互いに協力し合うことの大切さを改めて実感していました。

8/30 *Hirado City Photo News*
体育館に気合いが鳴り響く！



平戸文化センター大ホールで、「平成27年度平戸市防犯少年武道大会」（平戸地区連合防犯協会・平戸警察署主催）が開催されました。

剣道・柔道を習う市内の小中学生16団体186人が参加し、個人戦や団体戦が行われ、日頃練習した成果を試合にぶつけました。勝って笑う人、負けて泣く人がいましたが、試合後の顔は皆いい表情をしていました。

白熱した試合が展開され、保護者も大きな声援を送るなど、会場は熱気に包まれ盛り上がっていました。

8/27 *Hirado City Photo News*
国宝が人形でよみがえる



松浦史料博物館で、「婦女遊楽図屏風（松浦屏風）人物真多呂人形贈呈式」が行われました。

この人形は、福岡市在住の小田真倫芳（本名：芳江）さんが、終戦ごろまで平戸松浦家に伝来した国宝「婦女遊楽図屏風（松浦屏風）」に描かれた18人の婦女を伝統工芸・真多呂人形で再現したもので、9月30日まで展示されました。

小田さんは、「この絵のふるさと平戸を思いながら、心をこめてかわいらしく優雅に見えるように制作しました。人形たちもふるさとに帰れてよかったです」と笑顔で話されました。

8/23 *Hirado City Photo News*
インターネットの世界へようこそ！



8月3日から9月15日にかけて、各地区で「タブレットを使ったインターネット入門講座」が開催されました。

講座では、NTTの社員が講師となり、インターネットの説明から始まり、タブレットを使ってホテルや交通機関の予約をしたり、インターネットの地図を使って自分が行ってみたい場所を探したりしました。

平戸市未来創造館で行われた講座には13人が参加し、タブレットを前に悪戦苦闘しながらも一生懸命、操作を覚えていました。

9/6 Hirado City Photo News
大物とったど～！



潮の浦港、薄香港周辺で「第3回ファミリーフィッシング平戸」が平戸旅館組合主催で開催され、県内外から申し込みがあった7組19人の親子連れが参加しました。1泊2日の行程で、市内の民宿に泊まり、1日目は各宿泊先でおいしい夕食を堪能し、2日目に各港から出港し船釣りを楽しみました。

参加者は、普段あまり体験できない船上からの魚釣りに、最初は緊張している様子でしたが、タイなど大物の魚が釣れた時は満面の笑みをみせていました。

9/6 Hirado City Photo News
目指せ！将来の大横綱



田平町民センターで、恒例の第38回田平町相撲大会が開催されました。当日は、天候不良のため、場所を田平町相撲場から町民センターに移して行われました。小学生から一般の部まで90人が参加し、白熱した取組に、訪れた観客も声援を送っていました。1歳前後の赤ちゃんによる「赤ちゃんの土俵入り」も行われ、市内外から参加した17人が、鮮やかな化粧まわしとはちまきを身につけて土俵入りしました。泣いている子や真剣な面持ちの子など赤ちゃんのさまざまな表情があり、会場は笑顔や歓声に包まれました。

9/19・20 Hirado City Photo News
爽やかな天気の中、楽しくウォーキング！



「ひらどツーデーウォーク2015Vol.9」が開催されました。19日は生月コース、20日は平戸・田平コースに市民の皆さんや、遠くは北海道から延べ1,561人が参加し、5kmから30kmまでの全7コース（エコトレッキング4コース・延べ42人参加）を完歩目指して歩きました。

出発式では生月勇魚捕唄保存会Jrによる太鼓の披露や、平戸風神社中による演舞が行われ、会場を盛り上げました。

2日間とも爽やかな天候に恵まれ、参加者は平戸の風景を楽しみながら歩いていました。



9/12 Hirado City Photo News
世界のJAZZが平戸に！



平戸オランダ商館で、世界的に活躍しているJAZZバンド「ピーター・ビーツ・トリオ」をオランダから招き、「DUTCH JAZZ IN HIRADO 2015 オランダ商館コンサート」が開催されました。

「ピーター・ビーツ・トリオ」はヨーロッパを中心に活躍しており、特にピアノのピーター・ビーツさんは各国で国際的な賞を受賞するなど、世界的にも有名なピアニストです。

この日訪れた約140人の皆さんは、軽快で、心地よいセッションに魅了され、演奏が終わるたびに大きな拍手を送っていました。

9/12 Hirado City Photo News
初秋の平戸路を満喫



駅長おすすめのJR九州ウォーキング秋編・西海国立公園60周年「絶景の川内峠と千里ヶ浜を訪ねて！」が開催されました。

当日は、市内外から約400人が参加し、平戸港交流広場を出発して、最教寺や川内峠、千里ヶ浜などを巡り、鄭成功記念館をゴールとする全長約12kmのコースを歩きました。

参加者の皆さんは、趣きある平戸市街の街並みや、緑あふれる自然の風景を楽しみながら、初秋の平戸路をゆっくりと満喫して歩いていました。

9/6 Hirado City Photo News
スポーツの祭典始まる



平戸文化センターで、「第10回市民体育祭総合開会式」が開催され、各競技部から大勢の選手が参加しました。

式では、市相撲連盟の大石英樹選手が力強く選手宣誓し、フェアプレーを誓いました。

また、長年にわたり体育の普及や競技力向上に尽力した皆さんが表彰されました。【平戸市体育協会表彰】大島茂さん（ソフトテニス）、林直人さん（中部体育振興会）、針尾英明さん（柔道）、村瀬サトさん（ゲートボール）、本山繁治さん（バレーボール）

9/6 Hirado City Photo News
剣道で地域に貢献



平戸市剣道協会副会長の濱崎壽利（生月町）さんが「全国体育功労者表彰」を受賞されました。

濱崎さんは、昭和47年から生月剣道スポーツ少年団の指導者として、小中学生の剣道の普及および健全育成に尽力されました。また、「三地区青少年剣道生月大会」を毎年開催（35回）しており、地域に根付いた大会として貢献しています。

「この賞をいただいたのも、いろんな人たちに支えていただいたおかげです。これからもこの賞に恥じめよう、剣道を通して少しでも地域に貢献していければと思っています」と話されました。